



— 目次 — Contents

- 2 風水害に備えましょう
- 4 備中高梁駅橋上駅舎完成
- 5 行政情報 / 平成 28 年度採用市職員募集ほか
- 12 功績をたたえて  
・地域おこし協力隊がゆく
- 13 暮らしの情報 / 子育て支援情報
- 14 暮らしの情報 / 生活支援情報
- 16 情報プラス
- 20 検診情報・ヘルシーレシピ
- 21 地名をあるく
- 22 成羽病院通信・学園だより
- 23 図書館だより
- 24 市民のページ
- 26 まちの出来事
- 28 イベント情報  
・ちょっとひとこと

— 表紙 — Cover

5月8日、福地小学校で「人権の花」運動として、児童7人が人権擁護委員の皆さんと、ヒマワリなど5種類の花の種をまきました。人権の花を栽培することで、お互いを大切に思う心も育てていきます。

— 人口 — Population

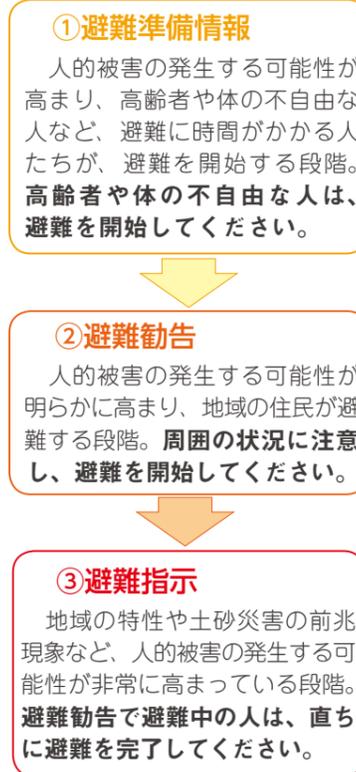
	人口・世帯数 (人・世帯)	前月比 (人・世帯)
総人口	32,700	+83
男性	15,615	+39
女性	17,085	+44
世帯数	14,866	+254

(平成 27 年 4 月末現在・外国人含む)

**気象・防災情報には十分注意を!**

日ごろからテレビやラジオなどの気象情報や、市の防災情報に十分注意してください。また、避難に備えて、非常持ち出し品や避難場所、避難経路を家族みんなで確認しておきましょう。家の周りで少しでも異常を感じたときは、早めに避難の準備をしましょう。

避難情報は緊急性に応じ、次の3段階に分けて市から発表します。



また、自ら判断して避難する場合(自主避難)は、市役所(☎21・0200)、またはお近くの地域局に連絡してください。

# もうすぐ梅雨の季節： 風水害に備えましょう

今年も、梅雨のシーズンがやってきます。毎年、この時期は梅雨前線の活動に伴う集中豪雨により、全国各地で被害が発生しています。大雨や台風を防ぐことはできませんが、一人一人が災害に備えることで、被害を最小限に抑えることができます。家族はもちろんのこと、地域ぐるみで対策を取るようにはしましょう。

■問い合わせ 総務課行政係 ☎21・0209

災害情報の収集はいろいろな方法で!

備えよう自主防災! 災害対策は地域のみならず



## 高梁市防災マップ

この防災マップには、河川が氾濫した場合に浸水が予想される地域や、土砂災害の発生が予想される危険箇所などが示されていますので、あらかじめ知っておくことで、早めに危険を回避して移動することができます。いざというときに備えて、避難場所までの経路を確認しておきましょう。

防災マップがお手元がない場合は、市役所またはお近くの地域局でお渡することができます。また、市ホームページからも見るができます。(キーワード検索で「高梁市防災マップ」と入力し、検索してください。)



登録用 QR コード

## 吉備ケーブルテレビ緊急災害情報

台風、地震、水害など、大規模災害発生時や災害が予想されるときに、吉備ケーブルテレビ121チャンネルで緊急情報を配信しますのでご確認ください。(テレビ放送の左と下に情報が表示されます。)



## メール配信サービス

気象情報や市が提供する避難指示などの防災情報を入手するため、メール配信サービスを利用しましょう。このシステムを利用するには、登録が必要です。

まだ登録していない人は、QRコードまたは下記の登録メールアドレスにアクセスし、ぜひ登録をお願いします。

**登録メールアドレス** e-takahashi@xpressmail.jp  
(件名・本文を入力せずにメール送信してください)

※提供している主な情報 気象警報・注意報(大雨、洪水、暴風、大雪)、地震情報、土砂災害警戒情報  
防災・防犯情報(避難指示、避難勧告、不審者情報)、火災情報など

もしも大災害が発生した時、道路の寸断等により消防や警察などの機関が早急に対応できない可能性がります。そんな時に力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。実際に阪神・淡路大震災の時には、がれきの下から救出された人のうち、自力または家族や近所の住民によって救出された割合が90%を超えるという調査結果があることから、地域の連携による活動の重要性は大きいと言えます。

**自主防災組織とは**地域の皆さんが自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災組織を構成して、災害に強いまちづくりを進め、「地域防災力」を向上させましょう。

### 自主防災組織の取り組み内容

**平時時にすべきこと**  
自主防災組織における日常の活動としては、災害時に効果的な活動ができるように、訓練、備蓄等の必要な災害への備えを行うことです。そして地域住民が防災に関する正しい知識を共有し、各家庭で災害に備え、自主防災組織の活動に積極的に参加するよう促すことが大切です。

- ▼地域の危険箇所と避難場所の把握
- ▼防災講習会の実施
- ▼防災訓練の実施(初期消火訓練、避難誘導訓練、情報収集・伝達訓練など)
- ▼地域の防災マップの作成など

### 災害発生時にすべきことは?

生命の危険が伴う非常時の防災活動で、まず重要なのは無理をしないことです。また災害時の活動は、自分自身と家族の安全確保を前提として行われるものです。防災機関と連絡を取り合いながら、地域のみならず力を合わせて活動しましょう。

- ▼被害情報の収集や伝達
- ▼出火防止活動、初期消火活動
- ▼負傷者の救出・救護
- ▼食料や飲料水の調達や炊き出しなど

地域に住む人々たちとの良好なコミュニケーションは、防災の第一歩です。「近所にどんな人が住んでいるのか」、「家族構成はどうなっているのか」、「体の不自由な人がいるか」などをお互いに知り合っているだけでも、災害時の救援・救助活動に役立ちます。いざというときに備えて、地域の実情に応じた自主防災組織を構成しましょう。